

平成22年度 第1回スマートグリッド特別研究グループ 議事録（案）

【日 時】 平成22年7月30日（金）10：00～12：00

【場 所】 電気学会 第1会議室

【出席者】 仁田旦三(主査・元会長)，山本俊二(委員・副会長)，池田久利(委員・研究経営理事)，長尾雅行(委員・A部門)，森 直子(委員・C部門)，川上 紀子(委員・D部門)，増田 隆彦(近藤委員の代理・D部門)，舟橋 俊久(委員・D部門)，山岡 和雄(委員・電気規格調査会)，山口 達史(委員・電気規格調査会)，沖 健志朗(オブザーバ・標準化推進室長)，島田敏男(専務理事)，田中 康治(標準化推進室)

【配布資料】

- (資料 SG-1-1) スマートグリッド特別研究グループ名簿
- (資料 SG-1-2) 「スマートグリッド特別研究グループ」設置趣意書
(平成22年4月28日理事会承認事項)
- (資料 SG-1-3) スマートグリッド委員会での議論のための雑文
- (資料 SG-1-4) 技術分野と technology transfer のために
- (資料 SG-1-5) 技術分野関連図

【議事】

1. 主査挨拶

会議開催にあたり、仁田主査より、電気学会としてスマートグリッドの活動を推進、世に対し電気学会としてスマートグリッドの活動を進めていることを知らしめていきたいとの開会の挨拶があった。

2. 設置趣旨説明・・・(資料SG-1-2)

島田専務理事より、資料「スマートグリッド特別研究グループ」設置趣意書（平成22年4月28日理事会承認済）を基にして、設置の目的他を出席者に説明した。

3. スマートグリッドとは（資料SG-1-3、1-4、1-5）

仁田主査より、欧州やEPR Iにおけるスマートグリッドの定義の説明があり、電気学会としてのスマートグリッドの定義を作っていきたい旨の説明があった。たたき台として、「エネルギー資源からエネルギー利用に至る過程において、様々な課題がある。電気工学が、その課題を具体化し、解を与えることが期待されている。その具体的形態がスマートグリッドである。」が提示された。

審議の結果、各部門の調査専門委員会活動の中で、スマートグリッドに関係する技術分野をピックアップして図示する。あわせ、テクノロジートランスファーを図式化していくこととした。

・次回は、9月中旬～9月末とする。

以上